

事務事業チェックシート

事務事業No 638 事業名 学校環境衛生維持管理事業（浄化槽の清掃、プール水質検査など）

[事業基本情報]

分野別目標	5	子どもが輝き、文化が薫る教育のまち
政策	1	学校教育の充実
施策	4	健康教育の充実
基本方針	1	児童・生徒の健康教育の充実

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		教育費	
	項		保健体育費	
	目		保健振興費	
	大事業		保健振興事業	
事項		学校環境衛生維持管理事業		

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間		～	
事業実施の根拠法令	学校保健安全法第6条、浄化槽法第10条、11条、水道法第34条の2第1項、学校環境衛生基準		
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	保健給食管理課	守脇 秀治	(435-1137)
関連課			

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束				○

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	児童、生徒等の健康保持増進のため各学校（園）の環境衛生設備の維持管理及び適正な処理を行い、学校環境衛生の保全を図る。	浄化槽の清掃、保守点検、水質検査、貯水槽の清掃。				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		浄化槽の清掃、保守点検、水質検査、貯水槽の清掃を実施した。	浄化槽の清掃、保守点検、水質検査、貯水槽の清掃を実施した。	浄化槽の清掃、保守点検、水質検査、貯水槽の清掃を実施する。	浄化槽の清掃、保守点検、水質検査、貯水槽の清掃を実施する。	浄化槽の清掃、保守点検、水質検査、貯水槽の清掃を実施する。

2 事業コスト

	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算
事業費	49,715	47,210	49,600	48,430	48,896		48,896		48,896	
伸び率 (%)	-	-	-0.2%		-1.4%		0.0%		0.0%	
人件費	常勤職員	2,243	2,335	2,335	2,273	2,273		2,273		2,273
	非常勤職員	302	0							
	小計	2,545	2,335	2,335	2,273	2,273		2,273		2,273
千円										
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他										
一般財源（税等）	49,715	47,210	49,600	48,430	48,896		48,896		48,896	
所要人数	常勤職員	0.30	0.31	0.31	0.31	0.31		0.31		0.31
	非常勤職員	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00		0		0
主な予算内訳	消耗品費19千円、手数料39,726千円、施設整備保守委託料9,151千円									

3 目標及び実績

		指標名及び達成状況				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
活動指標	環境保全活動を実施した学校（園）数	年度目標値				86	86	86	86	86
		実績値				86	86			
	単位	校(園)	全体目標値	86	全体目標達成度		100.0%	100.0%		
			全体目標値		全体目標達成度					
成果指標	環境保全活動実施率	年度目標値				100	100	100	100	100
		実績値				100	100			
	単位	%	全体目標値	100	全体目標達成度		100.0%	100.0%		
			全体目標値		全体目標達成度					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき		他の主体との協働も可能	○ 市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	プールの水質検査、浄化槽清掃、貯水槽の清掃等の学校環境衛生の維持管理については安全、快適な学習環境を作り上げるためにも必要不可欠であり、今後も継続して事業を進めていく予定である。また、コスト削減については難しいと考える。
「見直し」 「改善」案	児童生徒の安心、安全な学校環境衛生の維持管理を継続するために施設の老朽化に伴う設備管理部門と今以上に連携を図ることが必要である。